

玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2023年5月②号

<議会報告>

5月議会では、**柏野小学校と翔鷹小学校(上京区)の統合案が提案**され、すでに委員会での質疑が行われ、29日の本会議で各会派の賛否が示されます。

日本共産党は、小学校は居住する地域の中で細かな単位であることが望ましいと考えています。せっかく少人数学級で、ゆき届いた教育が行われているのに、合併すると、クラスの人数が多くなるクラスも出てきます。

教育委員会は、学年1クラスでは切磋琢磨がない、クラス替えがないなどと言いますが、教育内容はいくらでも工夫ができます。少人数教育の利点を活かすべきです。学童保育は、柏野小学校内の学童保育所は継続運営され、翔鷹学区の学童への選択は関係局と調整をすると説明がありました。

<物価高騰対策の紹介>

●暮らし応援給付金 非課税世帯に1世帯3万円の現金給付。

給付は7月に給付

●低所得の子育て世帯に対する世帯生活支援特別給付金

児童1人5万円 児童扶養手当支給者には5月末に振り込まれます。

●児童福祉施設・高齢者・障害者施設に支援金 6か月分

●生活困窮者への支援の強化 として、

取り組む団体への支援金。

子ども食堂への支援ではありませんが、フードパントリーは対象とのこと。

●中小企業等物価高騰対策支援金 法人3万円、個人2万円

前回の今年3月～5月に給付された方には、廃業していない限りプッシュ型で給付されます。



「健康保険証をなくす・・・?!」

自公政府は2024年秋には現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに健康保険証を一体化しようとしています。今般、厚生労働省の調査で、健康保険組合などによる誤登録が原因で、別人の情報がひも付けされた例が約7300件もあったことが明らかになるなど、個人情報漏洩が現実のものとなっています。

玉本なるみ市議は、環境福祉委員会で、「そもそも、法律ではマイナンバーカードの取得は任意で申請制。一方、保険診療という生命・健康に関するサービスの利用を阻害しかねない保険証廃止の方針を打ち出すことは、事実上のマイナンバーカードの取得の強制であり、国民皆保険の理念にも逆行する」さらに、医療の現場や介護・障害などの福祉施設からもマイナンバー保険証の導入の撤回を求める声が上がっていることを紹介し、京都市に対しても国民健康保険証などの廃止はすべきではないと求めました。

つぶやき：環境福祉委員会

今年の市議会での常任委員会は『環境福祉委員会』になりました。環境やゴミ、地球温暖化対策などを担当する環境政策局と敬老乗車証制度や介護などの福祉、国保、コロナなどを担当する保健福祉局に対して審議します。

早速、5月22日の環境福祉委員会で、**カラス被害対策**として、モデル実施で効果のあったケージも購入補助でなく、ネットと同様に貸し出しにすべきと提案しました。

さらに、**京都府後期高齢者医療広域連合委員**にも選ばれました。しっかり議論していきます。



ほんとに感動のドキュメンタリー映画でした。昨年、京都でコンサートがあり、紹介したことがあります。聴こえない子も、見えない子も、車いすの子も、その友達も、多様な子ども達が互いに力を合わせて、表現されています。**手歌(手話で歌う)**と声隊で構成されています。います。東京や沖縄、京都に支部があります。京都の支部に友人の娘さんが参加されていていつもお話を伺っています。映画は2021年12月に東京でベロヴェンの第9「よろこびのうた」をプロの管弦楽団と一緒に演奏されたのですが、練習に取り組み約3か月間のドキュメンタリー映画でした。芸術監督のコロナえりかさん(ヴァイオリン歌手)の情熱がすごい!初めてのリハサルでろう者の方が、オーケストラの楽器の音がびんびんと感じた」と感動する場面に、私は感動した。聴覚障害があっても、音楽の響きを肌で感じるのだ。

忙しくて、趣味の音楽は何とか続けたいと思った……。

ホワイトハンドコーラス

アンテナ

